

読んで知ろう!  
住んでるまちの  
議会情報!

# The市議会

ザ・シギカイ

Vol.63

2021.8

補正予算	……	2
委員会レポート	……	4
代表・一般質問	……	6
議決結果	……	13



市議会フェイスブック



市議会ホームページ



竜王山公園オートキャンプ場

竜の遊具!!

Y. Kijima

# 市長再選により政策的予算

今年度の当初予算は、経常的経費を中心に編成され、藤田市長の再選で、6月定例会では市長の政策が反映された補正予算(肉付け予算)が提案されました。歳入歳出それぞれ8億209万2000円を追加し、予算総額は300億8026万9000円となりました。

今回の補正予算の中から、主な事業についてお知らせします。

## スマイルチケット第2弾で市民と業者を応援

### 【商品券(スマイルチケット)発行事業】

- スマイルチケットの発行額面は500円で、10枚5000円分が全市民と山口東京理科大学学生に配布されます。
- 早ければ、8月中旬から郵便で発送されます。
- 使用期間は、商品券が届いた日から令和4年2月末までです。

予算額 3億7345万3000円



## 議会が中小業者の声を聞き、市に要求

長引く新型コロナウイルス感染拡大の影響により、飲食業者や小規模事業者は売り上げの落ち込みや感染対策などで経営に打撃を受け、売り上げ回復のために努力を続けています。

議会では、事業者や市民からさまざまな要望や意見を聞き、内部での協議を重ね、スマイルチケット第2弾発行に当たり、要求項目を次のようにまとめました。

- 1 売り上げに影響が大きい飲食業やタクシー事業者、小規模事業者を支援するため、専用券の割合を引き上げること
- 2 スマイルチケット取扱店の一覧を小学校区ごとに50音順に記載すること
- 3 同一世帯でも配達日が異なる前回のやり方を改め、配達を平等かつ迅速に行うこと

## 議会の要求に市が対応

議会からの要求を受け、市はスマイルチケット5000円分の配分を

専用券と共通券それぞれ2500円



専用券3000円、共通券2000円

にするなど、議会からの要求を受け入れました。

専用券 → 取扱店のうち市内の飲食店、小規模事業者、タクシー事業者  
共通券 → 取扱店全店

# 賛成多数で可決



## 防災気象情報システムで河川を監視

### 【防災気象情報システム導入事業】

- 6 河川に河川カメラを、2 河川に簡易水位計を新たに整備します。
- 河川カメラ … 厚狭川、有帆川、桜川、大正川、前場川、糸根川
- 簡易水位計 … 厚狭川、糸根川

予算額 2469 万 4000 円



← 河川カメラ

### 主な質疑

- Q** 県管理の河川であれば、県が設置すべきではないか。
- A** 県に要望はしているが、急ぐ事項と判断し、市で設置する。
- Q** 県との連携はどのようになっているのか。
- A** 市の設置カメラと水位の情報を県に提供しており、山口県土木防災情報システムで見ることができる。
- Q** 停電になったとき、このシステムはどうなるのか。
- A** バッテリーを搭載しているので、稼働できる。

## 防犯カメラ設置で安全安心なまちを

### 【防犯カメラ設置補助事業】

- 防犯カメラ、録画装置等の機器購入等の費用を一部補助します。
- 補助対象者は、自治会その他これに類する団体です。
- 補助金額は費用の 10 分の 7 で、上限は 10 万円です。
- 個人のプライバシー保護のため、カメラ設置者に対して適正な管理運用を行うように求めます。

予算額 200 万円



### 主な質疑

- Q** どのように周知していくのか。
- A** 自治会長宛てに通知するとともに、ホームページに分かりやすく掲載する。
- Q** 中立的な人が立ち会うなどをして、設置場所が妥当かどうか確認すべきではないか。
- A** あらかじめ自治会や周辺住民の同意を得てから申請してもらう。
- Q** カメラの管理運用については設置者に任せきりになるのか。
- A** 市のガイドラインを参考に、設置者で管理運用規程を設けてもらう。

## 20年後の新庁舎建て替えを見据え基金を

●山陽小野田市庁舎建設整備基金条例の制定  
 概要 将来発生し得る新庁舎の建設整備を見据え、基金を設置するものです。

主な質疑

Q 条例に繰替運用を規定しているが、その説明を。

A 一般会計の収支が合わない場合、積み立てている基金の残高から一般会計に繰り替えることで、銀行から借りの場合に発生する利子を払わなくて済む。この基金は20年後に取り崩す予定だが、それまでは繰替運用の規定があることで効率的な財政調整ができる。

Q 基金設定の前提として、現地建て替えを考えているのか。

A 現地建て替えはあくまで仮の話である。

Q 単年度1億円の積み立てで十分なのか。

A 20年後に現地で建て替えた場合の総事業費を約50億円と見込み、約20億円の基金が必要なため、毎年度1億円を積み立てる設定としている。

結果 全員賛成



現在の市役所庁舎

## ねたろう保育園を新設

●山陽小野田市立保育所条例の一部改正

概要 厚狭駅南部地区に建設中の保育所の名称等を定めるとともに、下津保育園、津布田保育園、出合保育園の3園を閉園するため所要の改正を行うものです。新しい保育所の名称は、ねたろう保育園とし、定員は140名です。



建設中のねたろう保育園

主な質疑

Q 応募用紙に名称案をいくつか設けており、特定の名称に誘導する意図があったのではないかと。

A 誘導するような意図はない。

Q スマイルキッズの愛称を決める際、案を挙げたのか。

A 市に一つしかない施設で、地元をイメージできる名称にこだわらなくてよいので、案を挙げなかった。この度の保育所は、地域の人にかわいがってもらえる施設の名称を事前に挙げた。

Q 定員140人の根拠は何か。

A 廃止する3つの保育所の過去5年間の平均児童数や、想定される待機児童数等を考慮して140人としている。

結果 全員賛成

## 江汐公園とゆめ広場に健康遊具

### ●スマイルエイジングパーク事業

**概要** 健康寿命の引き上げを目指すスマイルエイジング事業の一つとして、都市公園に健康遊具を設置するものです。令和3年度は江汐公園と寝太郎公園ゆめ広場に6基ずつ設置します。

**予算額 1680万円**



須恵健康公園の健康遊具

### 主な質疑

- Q** 2カ所の公園に同じ遊具を設置する意図は何か。
- A** 健康増進課との協議で、今回は筋力アップコースを設置することにした。
- Q** どのようなメーカーの遊具を設置するのか。
- A** 大手遊具メーカーが造った製品で日本公園施設業協会が認定したものを設置する。
- Q** 園路の整備はしないのか。
- A** 園路に傷みはあるが、通常の修繕料で対応する予定である。

## 子育て世帯を支援するために給付金

### ●子育て世帯生活支援特別給付金給付事業

**概要** 新型コロナウイルス感染症による影響を受けた低所得の子育て世帯に給付金を支給します。既に給付金が支給されたひとり親世帯は除きます。

対象児童は18歳未満です。ただし、特別児童扶養手当の対象者は20歳未満となります。申請期限は令和4年2月28日までです。令和3年4月分の児童手当、または特別児童扶養手当の受給者で、市民税均等割が非課税の場合は申請が不要です。新型コロナウイルス感染症の影響を受け、令和3年1月以降の収入が非課税相当となった人は申請が必要です。

支給額は児童一人当たり5万円です。

**予算額 5767万円**

### 主な質疑

- Q** 給付金の支給時期はいつ頃か。
- A** 申請が不要な人については、7月下旬に振り込む。
- Q** 申請が必要な人への周知は、どのようにするのか。
- A** 7月1日号の市広報に掲載する。また、幼稚園・保育園から高校まで、児童生徒一人一人にチラシを配布する。
- Q** どのように申請するのか。
- A** 来庁による申請だけでなく、郵送でも受け付ける。



会派 みらい21  
はせがわともじ  
長谷川知司議員



まちの価値を創るのはいつになるか

**Q** 官民連携手法で行う商工センター建て替えをまちのにぎわいに、どのようにつなげるのか。

**A** 産・官・学・金が一体となり、多様な主体がビジョンを共有しタッグを組むことで、相乗効果が期待でき、まちづくりにつながる。

**Q** この官民連携事業には、商工センターと山口銀行小野田支店だけでなく、市所有の高砂用地や中央福祉センター跡地も含まれる。

第1期として商工センターと山口銀行小野田支店の活用計画・実施とあるが、市所有の高砂用地や中央福祉センター跡地は、何年間放置したままとなるのか。

**A** 今後の事業体の方針にもよるが、先に商工センターと山口銀行の活用を優先的に図り、見通しができてからとなるので、明快な答えはできない。

スピード感のある事業展開が必要

**Q** 高砂用地や中央福祉センター跡地を塩漬けとせず、サンパークや観光、移住定住等に関連したまちづくりになるのであれば、官民連携事業と並行して市独自で土地活用を図ればよいのではないか。

**A** 商工センターから半径2キロメートル以内にまちのにぎわいを再びとを考えているので、官民連携事業に活用したい。



修理されないままの商工センター



**Q** コロナ禍における財政への影響はどうか。

**A** 令和3年度当初予算においては、前年度比で約4.7%（約4億6600万円）の市税の減収を見込んでいる。中期基本計画についても財政計画を勘案しながら作成していく。

雇用を守る施策展開を

**Q** コロナ禍での本市の雇用情勢とその支援策について、どのように考えているのか。

**A** 本市を含めた宇部管内の有効求人倍率は、令和3年3月時点で1.52倍と県内で最も高い数字となっている。事業者や地域経済に与えた影響は小さくなく、今後も影響が続くと考える。

令和3年度は、スマイルチケットの再実施や商工会議所と連携し相談窓口を設置する取組みを行い、雇用対策としてハローワークと連携し合同就職面接会の開催を検討していく。

**Q** コロナウイルス関連の情報をどのように発信していくのか。

**A** ホームページと市広報の二大媒体を活用し、これまで16回の市長メッセージを発信した。それぞれの利点を生かしながら公共施設やコンビニ等への啓発物の掲示、FMスマイルウェーブやフェイスブック等の手段を使っていく。また、公共施設の使用制限を行う場合には、防災メールも新たに活用する。本市独自のLINEアカウントの活用については今後検討していく。

会派 明政会  
いばいさむ  
伊場勇議員



コロナに負けない  
市政運営を



会派 新政会  
まつおかずのり  
松尾数則議員

## 三つの創るで 目指すまちづくり

**Q** 施政方針の内容を市民に周知する手段、方法はどうか。

**A** 必要に応じた説明を行いたい。特に地域運営組織は、新たな考え方であり、庁内でしっかり理解をしていく。今は行政からの投げ掛けが先になっているが、今後は各地域で説明を行い、意見を聞く取組みが必要になるので、その機会に周知、内容を説明したい。

### まちの価値を創る

**Q** 山陽小野田市の価値として、新幹線厚狭駅は他のまちに負けない魅力であると思うが、選ばれるまちであり続けるための方法、手段はどうか。

**A** 今後、駅南に保育所の建設を行い、県との協議で、県営住宅も設置するなど人口増に向け、計画を定め、助成金制度も進めたい。これからも、経済界をはじめ多くの人の力を借り、厚狭駅近隣を活性化していきたい。

**Q** 新たな価値を創る農商工連携による、まちづくりの今後の展開はどうか。

**A** 付加価値を付けて販売を行い、所得向上を目指すなど新規事業の中で、専門家の意見を聞き、農家等にアドバイスをしながら、成功例をつくりたい。第一次産業が魅力ある産業となり、市外からも新規就業者が期待でき、農業を志す人から選択される市を目指す。



## 「代表質問」と

## 「一般質問」



### ●代表質問

- ・会派の代表者が行う
- ・質問の冒頭に会派名、所属議員、会派理念等について述べる
- ・会派の政策を明らかにし、その見地から市長の施政方針に対して行う
- ・市長が総括的な答弁を行う
- ・質問方式は、一括質問・一括答弁方式
- ・時間は1人当たり60分
- ・原則3月定例会に行う

### ●一般質問

- ・各議員が行う
- ・個々の立場から、市の行政事務全般に対して行う
- ・質問方式は、分割質問・分割答弁方式または、一問一答方式のどちらかを選択
- ・時間は1人当たり70分
- ・定例会ごとに行う

本市議会では、平成26年3月定例会より代表質問制度を導入しています。

今年度は4月に市長選挙が行われたため、6月定例会において代表質問を行いました。



藤岡修美議員



災害に強いまちづくりを

【今回の一般質問】  
 ・災害に強いまちづくり  
 ・地球温暖化に対する取組み

災害を防ぐ

Q 市は今年4月に国土強靱化地域計画を策定したが、地域防災計画との相違点は何か。

A 国土強靱化地域計画は、あらゆるリスクを見据えつつ、どのような事態が起きても最悪な事態に陥ることが避けられるような強靱な行政機能や地域社会などを事前に作り上げていくものである。一方、地域防災計画は、国土強靱化地域計画を指針として地震などのリスクを特定し、そのリスクへの対応を取りまとめていくものである。

Q 国土強靱化地域計画は脆弱性評価を8つの個別施策分野と4つの横断的分野で行っているが、評価結果についてどう考えるか。

A 災害を未然に防止する公共土木施設等の計画的な整備や老朽化への対応、社会基盤の耐震化、自助・共助に基づく地域防災力の充実強化、早期避難や孤立防止等のための情報伝達などで、災害時における脆弱性が浮き彫りになっている。

河川に水位計を設置

Q 国土強靱化地域計画の重要業績評価指標目標値で、河川の水位計の設置箇所を増やすとあるがどうか。

A 防災気象情報システムの整備という観点で県と市が水位計を新たに設置していく。



有帆川の水位計

ワクチン接種会場の市民病院



ワクチン接種

Q ワクチン接種コールセンターや接種医療機関へ電話が繋がりにくい原因は何か。

A コールセンターへ電話が繋がりにくい原因は、電話を掛けた人の人数に応じた体制ができていなかったことだと思う。現時点では、全国的にコールセンターの需要が逼迫しているところだが、今後は回線の増設に向けて取り組んでいく。

接種予約方法が分かりにくい

Q インターネット予約を進めていくのであれば、分かりやすいアクセスガイドを作り、ネット予約サポートの窓口を公共施設に設置してはどうか。

A 操作説明のチラシについては、機種によって異なるので一律で説明書を作るのは難しい。スマートフォン等を窓口を持参すれば、職員が実際に画面を見ながら予約操作を手伝う支援窓口を設置することを考えていく。

Q これから仕事を持つ世代への接種も始まるが、働いている人が受けやすい接種の環境は考えているのか。

A 現在、集団接種会場を日曜日の開設を含めて検討している。医療機関においても、国の財政支援を活用して休日や時間外の接種も検討している。

コロナに対する医療体制は大丈夫か

【今回の一般質問】  
 ・ワクチン接種体制  
 ・市民病院のコロナ対策  
 ・バス路線再編計画



中岡英二議員







## 市民の声こそ市の大切な宝物

【今回の一般質問】

- ・市民サービスの向上
- ・環境問題
- ・デジタル化推進 など

# 市民の声

**Q** 市民サービスの向上について、環境衛生センターへの資源ごみの持ち込みに関する声がある。持ち込み料金を無料にすることはできないか。

**A** 地元のごみステーションに出すか、20キログラム以内に分けて持ち込むか、あるいは、日曜日に開設の資源ごみの回収場所に出せば無料である。

**Q** 日曜日に開設している資源ごみの回収場所で、全ての資源ごみへの対応はできないか。

**A** 職員の目が届かず、特に段ボールについては、産業廃棄物となるものも出される可能性が非常に高い。そこで、段ボール、古着、布類は除外している。対策が取れる方法があれば別だが、現状においては困難である。

## ハードが無理ならソフトを推進！

**Q** 遺族が行政手続を行う際に、一括して手続ができるようにしてほしいとの声がある。全国的に進んでいる「おくやみ窓口」の設置ができないか。

**A** 現在の本庁舎は手狭であり、新たにおくやみ窓口の受付コーナーを設置するスペースの確保は困難であるため、ハード面での対応は難しいと考える。ソフト面での対策については、デジタル手法の活用を含め、引き続き研究をしていく。



日曜日開設の資源ごみ回収拠点



**Q** 大雨時に市民が取るべき行動を示す5段階の警戒レベル4に位置づけられていた「避難指示」と「避難勧告」が「避難指示」に一本化されたが、これを受けて市の対応はどうか。

**A** 多くの人々が「避難勧告で避難すべきであること」「避難勧告と避難指示の違いを理解していないこと」が明らかになった。これを受け、レベル3を「高齢者等避難」、レベル4を「避難指示」に改正し、住民のより速い避難行動を促すことになった。市はホームページ、広報紙および防災メールで周知を行った。

**Q** いきなり「避難指示」が発令されることにより、新たな課題が発生しないか。

**A** 避難の方法については必ずしも避難所に避難するのではなく、近くの強固な建物や自宅2階へ垂直避難するなど、地域や家族の話し合いを含め広く周知に努める。

## 防災にJアラートの活用を

**Q** 避難指示等の市民への伝達手段として本年3月整備したJアラート、防災ラジオの活用をすべきではないか。

**A** 令和2年度に小中学校、幼稚園、保育園のスピーカー31か所に連動するシステム設置を終え、既存のものを加え35か所でJアラートが機能するので、スムーズな情報伝達ができると思う。

## 避難指示で必ず避難

【今回の一般質問】

- ・風水害等対策の取組み
- ・公共電波の確保



奥良秀議員



## 老朽化が進む市所有の危険な建物

【今回の一般質問】

- ・市が所有する建物の維持管理
- ・幼稚園や保育園の情報共有
- ・幼稚園や保育園のごみ収集

## 危険建物

**Q** 老朽化して地域住民から苦情が出ている市が所有する建物（使用可能なもの、使用不能なもの）がどれだけあるか。

**A** 一元管理を行っていないので集計はできていないが、近隣の住民に迷惑を掛けないよう、苦情等があればすぐ対応するなど所管課において適正に管理していると考えている。

**Q** 地域住民から事前に指摘されたにもかかわらず放置し被害が発生した場合、その責任の所在はどうか。

**A** 地域住民からの指摘の有無にかかわらず、市の管理に瑕疵がある場合、それが原因で周辺に与えた被害については、市が責任を負うものと考えている。

## 住民不安を取り除くべきではないか

**Q** 南中川公舎は、老朽化が著しく地域住民から暴風時に瓦や外壁等、飛散の危険性が指摘されている。また、風が強い時など物が飛散した場合は、地域住民が善意で集め敷地内に戻している。根本的な解決には至っていないが、今後、どのように対応するのか。

**A** 建物の状況から、今後の活用は考えられないので、解体処分する方向で進めていきたいと考えている。



南中川公舎の現状

刈屋漁港の浮き桟橋



## 水産振興

**Q** 水産業の振興の基本方針に「担い手の育成・確保に努めるとともに、漁業の生産基盤の整備を進める」とあるが、具体策はあるか。

**A** 水産流通の基盤であり、漁業者の就労場所でもある漁港の計画的な老朽化防止対策を実施している。平成26年から改革として「浜の活性化プラン」に取り組んでいる。

**Q** 「栽培漁業や資源管理漁業を推進するなど、育てる漁業の取組みを継続して進める必要がある」とあるが、具体策はあるか。

**A** 昨年は、鮎、ウナギ、キジハタ等の放流を補助した。宇部・小野田・山陽地域栽培漁業推進協議会では、クルマエビ、ガザミの放流事業を行っている。また、ナマコの資源管理、蓄養水槽を使ったガザミの販売調整等の取組みを行っている。

## 後継者に魅力ある環境づくりを

**Q** 経営基盤の強化として、「中核的漁業者育成、新規就業者対策等、融資制度の充実など経営基盤の強化を図る」とあるが、問題点はあるか。

**A** 本市には漁業近代化資金流通等の条例があるが、3年間で利用実績はない。県や漁協等関係機関との連携により経営基盤の安定化支援を継続する。

## 水産業振興策の具体策を示せ

【今回の一般質問】

- ・国土強靱化地域計画
- ・総合計画における水産業の振興



杉本保喜議員



たかまつひでき  
高松秀樹議員



## 指定ごみ袋の 不満解消を

【今回の一般質問】

- ・市内業者の振興
- ・ごみ問題
- ・死亡時の行政手続

ごみ袋

**Q** 本市の指定ごみ袋の価格は近隣市と比べても高い。この価格について調査研究していくとのことだったが、どうなったか。

**A** 全国のアイデアを参考に、ごみ袋の価格を下げることにについて、さらに研究を続けていく。

## 裂けにくい指定ごみ袋の販売を

**Q** 現在の指定ごみ袋は、裂けやすい材質である。裂けにくい丈夫なごみ袋を追加してはどうか。

**A** 裂けにくい素材のサンプルを取り寄せ、環境衛生センターで実証実験を行った結果、性能面で問題はない。現在のごみ袋を併用しつつ、別の材質として裂けにくいごみ袋を追加することについて、今後さらに慎重に検討を進めていく。

**Q** 環境衛生センターに持ち込む資源ごみは売払いをしており、年間相当の収益が出ている。市民サービスの観点からも、持ち込みの資源ごみは無料にすべきではないのか。

**A** 持ち込んだ重量が20キログラム以下の場合、手数料を無料としている。また、地元自治会のごみステーションおよび資源ごみの回収拠点は無料に対応しているので、その利用をお願いしたい。



自治会ごみステーション



ワクチン接種

**Q** 新型コロナワクチン接種について進捗状況、副反応等の報告状況はどうか。

**A** 接種実績については、6月3日現在で医療従事者が4408回、高齢者施設等の従事者が776回。65歳以上の高齢者については、6月7日時点で、1回目の接種が1万1110回で接種率は約53%となっている。副反応等の報告は、国に報告があったケースが2件ほど市に連絡があり、2件とも数日内で回復していると報告があった。

**Q** 接種記録台帳である「ワクチン接種記録システム」を導入する考えはあるか。

**A** 市が実施している集団接種会場はもちろんのこと、公的病院をはじめ、各医療機関にも協力をいただき、国から配布されたタブレット端末を利用して登録を行っている。

## コロナ差別への対応は

**Q** コロナ差別への対応は何かあるか。

**A** 市のホームページや広報紙等を通じて感染した人やその家族、医療関係者などに対する不当な差別や偏見、誹謗中傷等を行わないように、また不確かな情報を拡散したり、個人を特定したりするような行為を慎むように注意喚起を行っている。

## 希望する全ての 人への接種を

【今回の一般質問】

- ・新型コロナ感染防止対策
- ・アスベスト飛散防止



おかやまあきら  
岡山明議員

やまのぶゆき  
山田伸幸議員

## 宇宙監視レーダーの建設に反対を

【今回の一般質問】  
・藤田市長の施政方針  
・宇宙監視レーダー

**Q** 「宇宙監視レーダー建設に反対する市民の会」が立ち上がり、ビラの配布や防衛省への質問などの活動をしている。防衛省からの回答でレーダーの設計が完了し、説明会を開催している。市でも確認していると思うがどうなったか。

**A** 5月19日に防衛省中四国防衛局とインターネット会議を行い、設計が完了しているとの説明を受けた。住民への説明会は、夏頃までに実施したいと聞いている。

**Q** 3月議会で私の質問に対し、藤田市長は現地への建設を前提に、「設計どおりに稼働するのか検討」と答弁しているが、これは現地建設を容認する考えと捉えてよいか。

**A** 設計が完了して、数値が電波防護指針に収まっているか、シミュレーション結果を現地の実測値により、指針に沿っているか否かで判断したい。建設を容認しているわけではない。

### 市が独自に検証を

**Q** 防衛省が発表するシミュレーションのデータだけでなく、専門家の知見を得て、市が独自に検証すべきではないか。

**A** シミュレーションはあくまでも机上の数値であり、現地での実測値が一番大事と考えている。



宇宙監視レーダー施設用地

## 会議規則を改正しました



この度、全国市議会議長会において、標準市議会議規則の改正が行われました。

それは以下3点の政府の方針が示されたことによるものです。

- ①女性をはじめとする多様な人材の市議会への参画促進
- ②議員活動を制約する要因の解消
- ③行政手続等における押印の原則廃止

これを受けて、本市の会議規則において同様の改正を行いました。

【主な改正内容】 ※太文字が改正箇所

(欠席の届出)

第2条 議員は、**公務、疾病、育児、看護、介護、配偶者の出産補助**その他やむを得ない事由のため出席できないときは、その理由を付け、当日の開議時刻までに議長に届け出なければならない。

2 議員は、**出産のため**出席できないときは、**出産予定日の6週間（多胎妊娠の場合にあっては、14週間）前**の日から当該**出産の日後8週間**を経過する日までの範囲内において、その期間を明らかにして、あらかじめ議長に欠席届を提出することができる。

(請願書の記載事項等)

第138条 請願書には、邦文を用いて、請願の趣旨、提出年月日及び請願者の住所を記載し、**請願者が署名又は記名押印**をしなければならない。

2 請願者が**法人の場合には、法人の名称及び所在地**を記載し、**代表者が署名又は記名押印**をしなければならない。

3 前2項の請願を紹介する議員は、請願書の表紙に署名又は記名押印をしなければならない。



## ◎賛否の分かれた議案の議決結果



6月定例会で議案等18件を審議し、そのうち賛否の分かれた議案の議決結果4件を掲載しています。そのほかについては、全員賛成で可決しました。全議案の議決結果は、市議会ホームページに掲載しています。

令和3年6月定例会	議決結果	議員名																						
		伊場勇	大井淳一朗	岡山明	奥良秀	河崎平男	河野朋子	笹木慶之	水津治	杉本保喜	高松秀樹	恒松恵子	中岡英二	中村博行	長谷川知司	藤岡修美	松尾数則	宮本政志	森山喜久	矢田松夫	山田伸幸	吉永美子	小野泰	
令和3年度山陽小野田市一般会計補正予算(第4回)について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	/
令和3年度山陽小野田市小型自動車競走事業特別会計補正予算(第2回)について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	/
山陽小野田市立保育所条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
山陽小野田市副市長の選任について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	/

### 【表の見方】

○：賛成 ×：反対 ー：棄権又は欠席

小野泰議員は議長であるため、表決に加わりません。

ただし、山陽小野田市立保育所条例の一部を改正する条例の制定については、保育所廃止の内容が含まれ、特別多数議決（可決には、議長を含む出席議員の3分の2以上の同意が必要）となるため、議長も表決に加わりました。

## 市議会モニターとの 意見交換会を開催しました

新型コロナウイルス感染防止対策のため、6月28日、29日の2日間、計4回に分散し、意見交換会を開催しました。

まず、あいさつや自己紹介を行い、その後、本会議や委員会運営、広聴活動、市議会モニター制度について意見交換を行いました。



記念品を授与



意見交換の様子

市議会モニターからは、

- ・現場を見て問題解決に努めてほしい
- ・本会議がいつ行われているか分からない
- ・広聴活動は具体的に何をしているのか
- ・リモート会議はできないのか

など、活発に意見が飛び交いました。頂いた意見は、今後の議会運営の参考にさせていただきます。

## ◆ 手話勉強会を行いました

7月1日に民生福祉常任委員会の主催で、障害福祉課の職員を講師に招き、手話勉強会を行いました。

まず、講師と一緒にあいさつや自己紹介の仕方などを学び、その後2人1組になって、お互いに学んだことを披露しました。

特に、手の形で50音を表す「指文字」の習得に苦勞しました。



2人1組で自己紹介



指文字の練習風景

昨年12月定例会で「笑顔でところをつなぐ手話言語条例」が制定され、今年3月には施策の推進方針が策定されました。

市議会としても、手話に対する理解の促進と普及を図り、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らすことのできる共生社会の実現を目指して、今後とも鋭意努力してまいります。

お知らせ

### 9月定例会会期日程(予定)

#### 本会議の日程

9月定例会の日程(案)をお知らせします。会期日程は、諸事情により変更される場合があります。ご了承ください。

月 日	本会議
8月24日(火)	議案上程・説明
9月1日(水)	一般質問
9月2日(木)	一般質問
9月3日(金)	一般質問
9月6日(月)	一般質問
9月7日(火)	一般質問
9月14日(火)	質疑・討論・採決

### 編集室より



新型コロナウイルスの感染拡大から2年目の夏が過ぎようとしています。残暑の中、いかがお過ごしでしょうか。

コロナ禍の収束の切り札であるワクチン接種が進み、効果が現れ始めていますが、しばらくは感染予防に気を配る毎日が続くそうです。

感染対策を継続しながら、この大波を乗り切っていきましょう。

#### ◎広報特別委員会

委員長 山田伸幸 副委員長 恒松恵子  
委員 大井淳一郎 委員 岡山明  
委員 河崎平男 委員 河野朋子  
委員 笹木慶之 委員 藤岡修美  
委員 松尾数則



《表紙の説明》 竜王山オートキャンプ場の竜の遊具は、竜王山のシンボルとして2000年に製作され、多くの来場者を楽しませています。竜の口から22メートルの滑り台が設置されていて、子どもたちが歓声を上げながら滑っています。